

記入例

(表)

申込形態	一般	法建	用廃	住替	中堅	特目	抽選番号		
泊村公営住宅入居申込書									
申込者	現住所	北海道古宇郡泊村大字茅沼村字臼別191番地の7					氏名	泊 太郎	
	本籍地(国籍)	北海道古宇郡泊村大字茅沼村字臼別191番地の7							
	電話	0135-75-2140							
公営住宅に入居する者等	氏名	個人番号	続柄	生年月日	職業	勤務先の名称・所在地	勤務年数	年間収入	
	入居者	泊 太郎	12桁のマイナンバー	本人	R3・1・1	無職	無職の場合は記載不要	—	
	同居する				..				
					..				
					..				
	親族				..				
					..				
					..				
	別居扶養親族				..				
					..				
				..					
希望の団地等	団地・地区名	※募集要項の別紙、募集内容を確認し、「団地名」「建設年度」「部屋号室」を記入			特定目的住宅への入居希望	住宅の目的等	例) 職場が村内にあり、遠方から通勤しているので近くに住みたいため		
	間取り	※募集要項の別紙、募集内容を確認し、記入				理由	—		
	適用								

所得計算表

<p>1 所得</p> <p style="text-align: right;">=</p> <p style="text-align: right;">=</p> <p style="text-align: right;">=</p> <p style="text-align: right;">所得合計</p> <hr/> <p>2 控除額</p> <p>同居・扶養控除額 円 × 人 =</p> <p>老人扶養控除額 円 × 人 =</p> <p>特定扶養親族控除額 円 × 人 =</p> <p>障害者控除額 円 × 人 =</p> <p>特別障害者控除額 円 × 人 =</p> <p>高齢者控除額 円 × 人 =</p> <p>寡婦(夫)控除額 円 × 人 =</p> <p style="text-align: right;">控除額合計</p>	<p>3 公営住宅法に定める収入月額</p> <p>所得金額:</p> <p>— 控除金額:</p> <hr/> <p>収入年額:</p> <p>収入月額: 円</p> <p>4 年度入居収入基準</p> <hr/> <p>円</p> <p>5 入居収入基準 適合 ・ 不適合</p> <p>審査者: 印</p>
---	--

※ 太枠の部分に記入してください

(裏)

住宅の困窮状況	次に掲げる住宅の困窮状況のうち、該当するものに○をつけてください。
	1 現在住宅以外の建物又は場所に居住している。
	2 保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。
	3 他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便がある。
	4 住宅がないため、親族と同居することができない。
	5 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適切な居住状況にある。
	6 自己の責めによらない理由で、家主、貸し主などから立ち退きを要求され、適当な立ち退き先がない。
	7 住宅がないため、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。
	8 収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。
	9 その他(具体的にお書きください。)

[]

現在の住宅の状況	現在居住している住宅の種類
	1 借家 2 同居 3 貸間 4 民間アパート 5 賃貸マンション
	6 寮 7 持ち家 8 公営住宅(団地)
	9 道営以外の公営住宅(営) 10 公団・公社住宅 11 社宅 12 仮住宅
	13 その他()
現在居住している住宅の間取り	4LDK
現在居住している住宅の家賃等	持ち家
現在居住している世帯構成	父、母、姉

このとおり入居の申込みをします。
この申込みについては、次のことを誓約します。
1 この申込書に記載した事項は、全て事実と相違ありません。
2 この申請書に偽りの事項があった場合は、公営住宅入居決定の取り消しを受けても異議はありません。
3 この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合はその調査を妨げ、又は拒絶しません。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

泊村長 様

申込者氏名： 泊 太郎 ㊞

調査・確認事項

	当落	当選・落選
	団地	
	住戸	

受付印